

映画 男はつらいよ寅次郎夕焼け小焼け ～寅さんの撮影地を巡る～

資料:「第4回オータムフェスティバルin龍野」より

龍野は寅さんシリーズ第17作「男はつらいよ寅次郎夕焼け小焼け」:マドンナ=太地喜和子のロケ地です。ちょうど40年前の昭和51年に撮影がおこなわれました。龍野は40年前のロケ現場がそっくりそのままたくさん残っています。是非あなたも寅さんになった気分ですレトロな龍野を味わってみませんか？
なお、「男はつらいよ寅次郎夕焼け小焼け」はNHK BSで実施された「あなたが選ぶ寅さんアンコール」(前半24作品)で堂々第2位にランクされた秀作です。

《当時の龍野にやって来た主なキャスト》

渥美 清 …… 車寅次郎
太地喜和子 …… 芸者:ぼたん(マドンナ役)
宇野 重吉 …… 日本画壇の大家:池ノ内青観
岡田 嘉子 …… 青観の昔の恋人:志乃
桜井センリ …… 龍野市観光課長
寺尾 聡 …… 龍野市観光課係員

《あらすじ》

寅次郎が居酒屋で変な老人と知り合う。この老人は日本画壇の大御所、池ノ内青観先生だった。相変わらず「とらや」の連中と喧嘩して旅にでて、播州龍野で青観と再会。青観のお供をして、龍野の宴会で出会ったのが大輪の花の咲いたような芸者ぼたんであった。二人はたちまち意気投合、東京に帰った寅次郎のもとにぼたんが現れる。ぼたんの上京の理由を知った寅次郎はぼたんのために人肌ぬごうとするのだが予定通りにはならず、寅次郎は再び龍野に向かうことに……。



① ヒガシマル第2工場付近

ここで志乃が青観に別れを告げるシーンに使用



② ヒガシマル第2工場付近

寅さんが最後に樽の上に乗って「東京はどっちだ」と言って手を合わせたシーンに使われた



③ 伊勢屋

寅さんが二度目に龍野にやって来てここを歩く



④ 菊屋の四つ角

寅さんと池ノ内青観がタクシーに乗って龍野を離れる時にこの角を曲がって行った



⑤ 梅玉前

芸者ぼたんが、寅さんが帰る日にここを走って「寅さん」とやって来る



⑥ 梅玉

寅さんと池ノ内青観が泊まっていた宿



⑦ 龍野小学校南門より
動物園方向
夕焼けに染まる龍野の風景に使用



⑧ 霞城館から龍野城方向
宇野重吉の演ずる池ノ内青観が歩いた場面で使用



⑨ 中央公民館の前

寅さんたちがタクシーで市役所へ乗りつける場面で出てくる



⑩ 如来寺方向

ここを芸者が歩いて出勤するシーンに使用



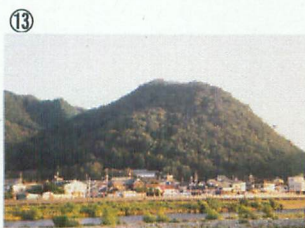
⑪ 晴風

静かな中に人々が生活しているという龍野を表すシーンに使用



⑫ 門の外

寅さんが観光課長にタクシーに乗せられこの前を通る



⑬ 龍野橋東詰から見る鶏籠山

市の観光課長が「ここからの鶏籠山が一番美しいです」という場面



⑭ ガレリア

寅さんが市の観光課長に連れられて龍野橋のもとにタクシーで来る

※著作権上、当時の映画の画像は使用できませんので、写真の画像は現在の町並みとなっています。

映画 男はつらいよ 寅次郎夕焼け小焼け

寅さんの撮影地を巡る



龍野はふるさとの
香り匂うまち
「播磨の小京都」と
呼ばれている閑静な城下町です。

- 観光関連施設
- 公共施設等
- 🚶 観光案内看板
- WC → ♿ 付き
- 大型バス
通行可道路

たつの市・たつの市観光協会
TEL0791-64-3156
ホームページ <http://www.city.tatsuno.lg.jp>